



# ロータス林のわくわく通信



平成26年9月15日刊行

皆様こんにちは。一ヶ月のご無沙汰です。お変わりございませんでしたでしょうか？

さて、8月、阿波踊り前に襲来した台風11号、12号は長く滞在し、家が飛んで行ってしまおうのではないかと思っほどの強い風と雨でした。

今年は「降れば洪水、照れば干ばつ、吹けば竜巻」という30年に一度しか起こらない「異常気象」が目立っています。本社前の北佐古周辺で、水が排水されないほどの雨はここ近年見たことがありません。

徳島県の被害は、県南部を流れる那賀川の水が溢れ、阿南市加茂町の加茂谷中学校が4階建ての校舎の2階まで浸水し、長安ダムが流入水量をそのまま放流したとかで、完全なる人災と批難轟轟、台風が来る前にダムを放流をし、備えておいて欲しかったとの意見が多かったですね。

その後には広島で発生した局地的な短時間豪雨による大規模な土砂災害は、多くの死者がでる甚大な被害を及ぼしました。土砂災害の起きやすい地域での大規模な宅地開発、水路の未整備など、根本的な問題が問われています。被害に遭われた皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

災害以外にも、不気味なのは、赤道付近で発生していた「デング熱」が日本でも！

9月は心穏やかに過ごしたいですね。一ヶ月、どうぞ宜しくお願いさせていただきます。



## 「山の日」祝日制定！

今年4月25日に衆議院本会議で可決された改正祝日法により、新しい祝日、「山の日」が制定されました。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨とするらしいです。初の8月の祝日で、お盆前ですし嬉しいですね。2016年（平成28年）から施行されるそうです。「海の日」の次は「山の日」、水都の住民としては、次は「川の日」の制定を希望しま〜す。



## なつちゃんの今月のオススメ映画

### 清須会議



1582年、天下取りにあと一步と言ったところで、明智光秀の謀反により本能寺で非業の死を遂げた織田信長。その跡目を継ぐのは誰か。「跡目を継ぐのは、当然筆頭家老のわしだ」と言わんばかりの柴田勝家と、天下取りを目標と豊臣秀吉の一進一退の駆け引きと、水面下で繰り広げられる心理作戦の中、日本史上初めて「会議の席上で歴史が動いた」と言われる清州会議、本能寺の変の後、跡目が決まるまでの数日を、本編138分で描きます！

監督は、三谷幸喜。そして、三谷映画に欠かせない妻夫木聡と佐藤浩一さんが今回も映画を成功させる牽引力となっています。妻夫木聡の役どころは、大うつけとされる信長の次男、信雄。「ほんまにこんなうつけだったん？」。末裔からクレームが入って来たのではないかと考えるほどのバカっぷり。輪をかけてるようにオモロイのは、「ザ・マジックアワー」で「テラ富樫」を演じた佐藤浩一が、会議の行方を左右するどつちつかずの池田恒興を演じています。柴田勝家役の役所広司さんや、悲劇のお市の方を演じる鈴木京香さんも影が薄らぐキャストインク。それにもまして見どころの、時の流れを引き寄せる秀吉のすば抜けた雰囲気作りは、現代にも通じる良いいお手と言えりかもしれません。ぜひぜひオススメする作品です。

## ハッカー世界大会「DEFCON (デフコン)」

世界中からハッカーが集まるイベント「DEFCON」が、8月10日、ラスベガスで開催されたそうです。この競技は、ハッカーが出された問題に対して、自らのハッキング能力や知識を駆使してハッカーとしての実力を競う競技で、世界から約900のチームが結集したそうです。競技は、各チームに用意されたサーバーを攻防する形式で、それぞれのサーバーには、さまざまなサービスが稼働していて、そのサービスの脆弱性を解析して攻撃・防御を行い、フラグとなるキーを奪い合うんだそうです。

今回の「DEFCON」では、自動車の自動運転技術の危険性についてのデモンストレーションが行われ、現在の車載機器ネットワークは不正にアクセスすることが簡単で、自動運転は容易にハッキングできるんだそうです！乗員が何もできず、外部の者が勝手に自動車を操ってしまう様が映像で実演されたそうです。ひいっ！！怖ろしいっ！！

日刊自動車新聞では、「他人がある人の車を事故に遭わせるなど、テロへの利用も懸念されることになる。」と評し、「セキュリティが置いてけぼりにならない！普及を願うばかりだ」と結んでいます。今後の技術の動向に注目したいですね。



## ホンダが快挙

## 日の丸ジェット(Honda Jet)

世界的大ヒットのカブから始まり、自動車、そしてロボット開発は「アシモ」で驚かせてくれている実に不思議な会社ホンダ。今度は、6月27日に、本田技研工業の米国子会社ホンダ・エアクラフト・カンパニー (HACI) が製造する小型ビジネスジェット機、「ホンダジェット (HondaJet)」の量産1号機が、米国で初飛行に成功し話題沸騰だそうです！！



ホンダの航空機事業参入は、1962年。当初、「二輪屋」のホンダに、飛行機をつくれるはずがないというのが、世間の見方だったそうですが、創業者の本田宗一郎さんの、「いつかは空へ羽ばたきたい」という空への憧れを実現させた形。従来、航空機産業では、機体とエンジンの開発・生産のすみ分けが進んでいて、ボーイングのような航空機メーカーは、航空機エンジンを生産していません。ホンダのように、

両方の開発・生産を手掛ける民間企業は、世界に例がなく、しかも、通常、エンジンは、胴体の後部左右に搭載されているのが業界の常識の所、今回のモデルは、常識を覆し意表をうけて左右の主翼の上に搭載しているクルマ屋が生み出したデザインだそう！

ホンダジェットの概略は、パイロット・1~2名、乗客5~6名、席数7~8席、全長12.71m、全幅12.15、全高4m、色は、銀、赤、黄、青のバリエーションが用意されていて、価格は450万ドル（約4億5000万円）。

ライト級が得意中の得意のホンダ、大型ジェット機メーカーではとても真似できない小さいながらもとてつもない馬力の小型ジェットで世界を震撼させてください。



イルカに似てませんか？

## 水都徳島のイベントお知らせ



も付いていて至れり尽くせり。ポディーカラーも、軽トラには想像の枠を超えたピンクも用意されています。農業女子に嬉しい車ですね。

最近始まったダイハツの軽トラック、ハイゼットのCM、ご覧になられましたか？ イメージガールを、なんと安倍ソリーの奥さんの昭江さんがお務めです。なんでも昭江さんは、地元山口県で無農薬のお米を作っている農業女子で、今回のモデルチェンジにあたって、プロジェクトに参加しているそうです。スーパーUV&IRカットガラス、スーパークリーンエアフィルター、パニティーミラー付サンバイザーなども付いていて至れり尽くせり。ポディーカラーも、軽トラには想像の枠を超えたピンクも用意されています。農業女子に嬉しい車ですね。



農業女子カアツプ！  
ダイハツ  
軽トラック！



## 給油口はこちら↓

新車に乗り換えた際や、自動車屋に修理に出して代車を借りた際、ガソリンを補充するのに、「ガソリンの給油口はどっち？」と、わざわざドアを開けて確認する時がないですか？

ガソリンメーターの△マークが向いている側にありますので確認を！



↑給油口は左 給油口は右↓